

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名: 基山町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
有限会社基山タクシー	【1号車】基山駅～けやき台～高島団地～憩の家～基山駅系統(4便)				
有限会社基山タクシー	【1号車】基山駅～けやき台～高島団地～基山駅系統(1、2便)				
有限会社基山タクシー	【1号車】基山駅～けやき台～高島団地～やよいがおか～憩の家～基山駅系統(3便)				
有限会社基山タクシー	【1号車】基山駅～けやき台～高島団地～やよいがおか～憩の家～基山駅系統(6、8便)				
有限会社基山タクシー	【1号車】基山駅～けやき台～高島団地～やよいがおか～憩の家～基山駅系統(7、9、10便)	・瀧光徳寺・若基小学校前にバス停を新設することで、利用者への利便性向上及びより安全な運行の実施に努めた			
有限会社基山タクシー	【1号車】基山駅～けやき台～高島団地～やよいがおか～基山駅系統(5便)	・コミュニティバス便利帳を全戸配布することにより、免許証自主返納者に対する運賃無料化や回数券、フリーバスの販売について周知を行った。	A	・令和5年度の目標値は1日の平均利用者数85人/日としていたが、実績としては89.25人/日となり、目標値を達成することができた。	・今年度実施した乗込調査を引き続き実施し、バス利用者から意見聴取を行うほか、運行ダイヤ、ルート等についても必要に応じて検討し、コミュニティバスの利便性向上に努める。
有限会社基山タクシー	【2号車】月水金1便(園部通学～長野～宮浦～中心部～本桜～園部～中心部)		A	・令和4年10月より新たに導入した小学生フリーバスの購入件数は令和5年9月までで27件となり、通学を主とした小学生の町内移動支援を行った。	・福祉課と連携し、コミバス乗車体験や参加者へのアンケートを行うことで、新規利用者をはじめとした利用者数の増加につなげる。
有限会社基山タクシー	【2号車】月水金2便(宮浦～本桜～園部～本桜～長野～宮浦)	・福祉課が実施するアンケート及び町広報誌でお試し乗車券の配布を行い、利用促進を図った。			
有限会社基山タクシー	【2号車】月水金3便(本桜～長野～中心部～本桜～園部)				
有限会社基山タクシー	【2号車】月水金4便(中心部～本桜～長野～中心部～宮浦～園部)	・移動制約者への対応として、小学生フリーバスの新規作成及び高齢者を対象とした回数券の割引率拡大を実施。			
有限会社基山タクシー	【2号車】火木土1便(園部通学～長野～宮浦～中心部～本桜～園部～中心部)				
有限会社基山タクシー	【2号車】火木土2便(長野～本桜～園部～宮浦～本桜)				
有限会社基山タクシー	【2号車】火木土3便(長野～本桜～園部～中心部～本桜～宮浦)				
有限会社基山タクシー	【2号車】火木土4便(中心部～本桜～園部～中心部～宮浦～長野)				

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名:	基山町地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>基山町は、東部の平地と西部の山間地という異なる地形を有した面積22.15km²の約3分の2を丘陵地が占める土地であり、民間の路線バスが運行されていない地域である。今後、人口減少や少子高齢化が更に進んで行く中で、誰もが利用しやすく、かつ日常生活における移動手段を持たない町民の生活を支えるための地域公共交通を確保・維持する。</p> <p>また、広域移動を担う基幹路線(鉄道、高速バス等)への乗り継ぎ促進・円滑化を図り、公共交通を活用したまちづくりの活性化を目指す。</p>

1. きやまコミュニティバスの幹となる計画

基本構想	目指すすがた	
基山町第5次総合計画(H28)	計画的で安全な交通基盤整備	交通ネットワークの構築
基山町都市計画マスタープラン(R4)	公共交通機関の利便性の向上	
基山町立地適正化計画(R2)	コンパクトなまちづくりと地域交通の連携	



地域の交通計画	地域の交通の在り方
基山町地域公共交通計画(R3)	

基山町地域公共交通計画の目標

- 目標1 町内拠点へのアクセス利便性の強化
- 目標2 誰もが利用しやすい公共交通サービスへの改善
- 目標3 意識や行動の変化を促す取り組みの実施
- 目標4 相乗効果の創出に向けた他分野・他地域との連携
- 目標5 財政負担の維持・軽減

2-1. 評価の基本的な考え方

- 評価対象は、きやまコミュニティバス運行路線(けやき台線・高島線・中心部巡回線・園部線・宮浦線・本桜線・長野線)
- 評価の期間は、令和4年10月～令和5年9月の1年間とする。
- 評価の視点は「利用者数」の目標達成度とする。

自己評価結果等を整理

評価結果 A・・・事業が計画に位置付けられた目標を達成した

B・・・事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった

C・・・事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった

	目標値	評価方法	R5年度実績値	自己評価
評価1 「利用者数」	1日平均利用者数 令和5年度 85人/日 令和6年度 89人/日 令和7年度 93人/日	実績	1日平均利用者数 89人	A

評価1の総合評価	A
----------	---

2-2. 計画の評価

評価1.「利用者数」

年月	運行日数	1号車		2号車		合計		前年比
		利用者数	1日平均	利用者数	1日平均	利用者数	1日平均	
R4.10	26日	1,366人	53人	898人	35人	2,264人	88人	102%
R4.11	24日	1,245人	52人	1,021人	43人	2,266人	95人	
R4.12	23日	1,212人	53人	787人	34人	1,999人	87人	
R5.1	22日	1,017人	46人	651人	30人	1,668人	76人	
R5.2	22日	1,170人	53人	728人	33人	1,898人	86人	
R5.3	26日	1,404人	54人	989人	38人	2,393人	92人	
R5.4	24日	1,274人	53人	936人	39人	2,210人	92人	
R5.5	24日	1,375人	57人	798人	33人	2,173人	90人	
R5.6	26日	1,509人	58人	908人	35人	2,417人	93人	
R5.7	25日	1,413人	57人	813人	33人	2,226人	90人	
R5.8	26日	1,440人	55人	897人	35人	2,337人	90人	
R5.9	24日	1,395人	58人	816人	34人	2,211人	92人	
合計	292日	15,820人	649人	10,242人	422人	26,062人		

(参考:前年度実績)

年月	運行日数	1号車 前年度		2号車 前年度		合計 前年度	
		利用者数	1日平均	利用者数	1日平均	利用者数	1日平均
R3.10	26日	1,290人	50人	980人	38人	2,270人	88人
R3.11	24日	1,328人	55人	1,045人	44人	2,373人	99人
R3.12	24日	1,145人	48人	827人	34人	1,972人	82人
R4.1	23日	799人	35人	691人	30人	1,490人	65人
R4.2	22日	981人	45人	652人	30人	1,633人	75人
R4.3	26日	1,398人	54人	848人	33人	2,246人	87人
R4.4	25日	1,328人	53人	959人	38人	2,287人	91人
R4.5	23日	1,208人	53人	863人	38人	2,071人	91人
R4.6	26日	1,453人	56人	900人	35人	2,353人	91人
R4.7	25日	1,399人	56人	971人	39人	2,370人	95人
R4.8	26日	1,234人	47人	998人	38人	2,232人	85人
R4.9	24日	1,219人	51人	925人	39人	2,144人	90人
合計	294日	14,782人	603人	10,659人	436人	25,441人	

